

| | | 社会実装分野（目的） | | | | | | | | | |
|--------------|--|--|--|---|---|---|---|--|---|---|--|
| | | エネルギー | 環境 | 安全 | 情報通信 | 医療・バイオ・健康・福祉 | 食 | 航空・宇宙 | 資源 | 基盤 | |
| 技術分野 (手段) | 機械 | ①海面下ソーラー発電システム | ①-1 振動騒音を軸とした「価値倍増コスト半減の機械製品開発」、「人にやさしい道路交通環境の実現」 ①-2 音振動を伝えない筐体・システム設計手法 | ①宇宙エレベーター実験用クワイマーの監視検査装置への応用 | | ①-1 体動による旋回機能を持つ倒立振り型電動重椅子の開発 ①-2 アイリスロボットハンド | | ①きめ細かいニーズにこたえる低コストロケット打ち上げシステム | | ①流体制御技術により浮上化した機械装置の非接触変位・姿勢制御（JST新技術説明会） | |
| | 電気・電子 | ①-1どこでも太陽電池の開発 ①-2 近紫外光をカットしつつ発電する透明窓材料（JST新技術説明会） ②エネルギー経済シュミレーターの開発 ③新・省エネルギーシステムの構成要素および応用に関する研究 | ①-1どこでも太陽電池の開発 ①-2 近紫外光をカットしつつ発電する透明窓材料（JST新技術説明会） | ①-2 波動理論による音響レンズの高精度設計技術（JST新技術説明会） | ①-1 Beyond 5G用機能デバイスの新プラットフォーム ①-2 ミリ波・テラヘルツ波におけるフォトニック結晶構造を応用した次世代無線通信用高性能機能デバイスの開発 | ①音響レンズを用いたセンシング技術や超音波照射による生体内温度上昇の推定法の開発など ①-2 波動理論による音響レンズの高精度設計技術（JST新技術説明会） | | | ①音響レンズを用いたセンシング技術や超音波照射による生体内温度上昇の推定法の開発など ②電流直接駆動型バルチエ素子を用いた高速熱応答局所冷却加熱及び温度勾配ステージ ①-2 波動理論による音響レンズの高精度設計技術（JST新技術説明会） | | |
| | 情報 | | | ①情報セキュリティ技術において中核をなす暗号技術 ②形式アシュランスキースの研究 | ①人や組織の創発を支援する人工知能システムの研究 ②-1 オブジェクト指向に基づくシステムの要求定義・仕様記述プロトタイプ開発 ②-2 データベースのデータ量削減と検索速度向上を実現 ②-3 顧客対応記録を複数の視点から共有できるシステム ②-4 データ量の大幅圧縮と検索速度向上を実現するデータベースの構成法（JST新技術説明会） ③要求定義書における品質要求記述の十分性の分析 | | | | | | |
| | 化学 | ①革新的な金属酸化物、酸素貯蔵材料の研究 ②神奈川大学新型電池オープンラボ | ①廃却時に人工的に容易に分解可能なプラスチック ②環境負荷物質を無害化・再資源化 | | ⑤可逆的架橋が可能な有機・無機ハイブリッド高分子材料（JST新技術説明会） | ①計算化学による分子構造および化学反応の予測と理論設計 完全合成ビタミンD誘導体の創成プラットフォームの提供 ③ナノ・マイクロ物質を捕まえて・集めて・撮る手法の開発 革新的な医薬の開発にむけて | | ②環境負荷物質を無害化・再資源化 | ④世界をリードするラジカル観測技術 ②高移動度有機半導体の開発とOLED、OFETへのへの応用、高効率発光性有機分子の開発と有機レーザー ①革新的な金属酸化物、酸素貯蔵材料の研究 ③汎用ビニルポリマーへのガラス転移点および水溶性の自在制御機能の付与手法 ⑤可逆的架橋が可能な有機・無機ハイブリッド高分子材料（JST新技術説明会） ⑥溶液中の有機化合物の反応遷移状態を実時間計測できる分光技術（JST新技術説明会） | | |
| | ①界面活性剤を使わない環境に優しい乳化（どの分野にも応用がきく、非常に汎用性の高い技術） | | | | | | | | | | |
| | 経営工学 | | | ①ヘッドホンで音楽を聴く人に音を消して危険を知らせるシステム | ①ヘッドホンで音楽を聴く人に音を消して危険を知らせるシステム | | | | | | |
| | 建築 | | ①環境騒音の人への影響低減 | ①多角的に防災・減災へアプローチ | | ①環境騒音の人への影響低減 | | | | | |
| | 物理 | | | | ①二次元Si系半導体の基礎研究 | | | ①初期宇宙における相転移と宇宙の物質構成 宇宙線ミューオンで地下を透視する | | | |
| | 生物 | ①-1 光合成微生物シアノバクテリアを利用した光生物学的水素生産 ①-2 紅色光合成細菌を利用した光生物学的水素生産 | ①-1 光合成微生物シアノバクテリアを利用した光生物学的水素生産 ①-2 紅色光合成細菌を利用した光生物学的水素生産 | | | ①雌雄うみ分け技術の開発（エビ・カニなどをメインとして） | | | | | |
| | 数学 | | | | | | | | | ①マルコフ決定過程など多段決定過程における | |
| 人間科学 | | | | | ①筋電センサー 運動効果のメカニズムを解明する | | | | | | |
| 人文 | | | | | ①よりよいユーザー体験（UX）を提供するモノ・コトづくり実践 | | | | | | |